

熊本県立阿蘇清峰高等学校 生物科学科 【イチゴ栽培における地域資源を活用したハイブリッド栽培の研究】

功績

「美しい阿蘇の自然は私達の手で守る」をコンセプトに、石油暖房機に依存しない栽培法を確立させるため、ヒートポンプを活用したハイブリッド栽培の研究に取り組んでいます。冬季における施設野菜栽培では温度を確保するために、石油暖房機を必ず使用するため、膨大な量のCO₂を排出しており、将来、農業自営を目指す子供達に希望の持てる農業経営を実践させるためにも、生徒達を中心に地域農家の皆さん方と取り組みを行っています。出来るだけのCO₂削減を目指し、平成20年から3年間で合計24.9tのCO₂削減に成功できました。

年々、温室効果ガス削減に貢献しており、地域農家及び関係機関の方々と地域農業担い手シンポジウムの中で情報を提供しています。阿蘇全域の農家の方々へ普及することが目的で、阿蘇全域で取り組みを行うとおおよそ500tもの温室効果ガスの削減が期待できます。